

2021年6月吉日

報道関係者各位

旭酒造株式会社

日本センチュリー交響楽団



Presents

日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会 ～世界の医療従事者に届ける感謝の響き～

世界中が新型コロナウイルス感染症に見舞われてから1年半ほどが過ぎ、私たちの生活にも様々な影響を及ぼしています。中でも感染症と直接対峙している医療従事者の方々は心身ともに大きな負担を強いられながら任務にあたられています。そのような日々ご尽力いただいている世界中の医療従事者の皆さんに、感謝と敬意を込め、束の間のひとときを音楽で心癒してもらいたいという思いからこの企画が立ち上がりました。世界的日本酒ブランド「瀨祭」と飯森範親首席指揮者率いる日本センチュリー交響楽団が、山口県・岩国から“感謝の響き”としてお届けするコンサート。ソリストには北九州市出身・ブラームス国際コンクール覇者の中村太地が登場。プログラムは世界中を旅するような各国の音楽をご用意しました。シンフォニア岩国のコンサートホールに医療従事者の皆様をご招待させていただき、また会場にお越しいただけない方には全世界へ向けたオンライン配信でご覧いただきます。一般の方もチケット購入者にご来場いただけます。皆さまに極上の時間をお楽しみいただけますよう、願いを込めてお贈り致します。

〔公演名〕 瀨祭 Presents 日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会
～世界の医療従事者に届ける感謝の響き～

〔日 時〕 2021年8月22日(日)15時開演 (14時開場)

〔会 場〕 シンフォニア岩国 コンサートホール (山口県岩国市三笠町 1-1-1)

〔指 揮〕 飯森範親 [ヴァイオリン] 中村太地

〔管弦楽〕 日本センチュリー交響楽団

〔曲 目〕 ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲

ヴォーン・ウィリアムズ: 「グリーン・スリーブス」による幻想曲

バーバー: 弦楽のためのアダージョ、リムスキー＝コルサコフ: スペイン奇想曲

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調

和田 薫: 交響曲 瀨祭～磨 migaki～ より第4楽章

2021年6月11日(金) 一般チケット発売

S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円 (全席指定・税込)

※当日全世界ライブ配信有(日本センチュリー交響楽団オフィシャル YouTubeにて配信)。

後日アーカイブ配信も予定しています。



©山岸 伸

指揮：飯森範親 Norichika Iimori（日本センチュリー交響楽団首席指揮者）

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギーな活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドバイザー(次期音楽監督)に就任。

2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。オフィシャル・ホームページ <https://iimori-norichika.com/>



©Ayane Shindo

ヴァイオリン：中村太地 Daichi Nakamura

北九州市出身。3歳でヴァイオリンを始める。高校卒業後ウィーンへ渡り、ウィーン国立音楽大学でM.フリッセンシュラーガーに師事。さらにベルギーのエリザベト王妃音楽大学でA.デュメイに師事する。2004年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール、12年ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、14年クライスラー国際コンクール、16年ロドルフォ・リピツァー国際コンクールなど、権威ある国際コンクールで多数入賞及び特別賞受賞。2017年、第24回ブラームス国際コンクールで日本人初の優勝を果たす。20歳の時にソフィア・フィルとの共演でヨーロッパ・デビュー。以来、ヨーロッパと日本を中心に演奏活動を行い、九響、セントラル愛知響、名フィル、新日本フィル、

サントペテルブルク響などのオーケストラと共演するほかフィンランド・クフモ室内楽音楽祭に度々招かれ出演。また、サントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとするホールでリサイタルを行っている。2019年ビクターエンタテインメントよりデビューアルバム「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ集」(ピアノ：江口玲)をリリース。使用楽器は1738年製グアルネリ・デルジェス“ソフィー・ハース”(北山コーポレーション・北山英樹氏より貸与)。



©Masaharu Eguchi

管弦楽：日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会

を開催。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

担当者：事業部長 兼 営業戦略室長 小田弦也

TEL：06-6848-3333 携帯：070-2447-6908

Email：odag@century-orchestra.jp

旭酒造株式会社

担当者：広報 千原英梨

TEL：090-2291-0081

Email：e.chihara@asahishuzo.ne.jp